

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	庁舎(本庁舎・第二庁舎・第三庁舎・議場棟・公会堂・さんさん館)									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	3
事業所等の所在地	〒181-0014 区市町村名 東京都三鷹市									
町名番地下	野崎1-1-1									
事業所等の延床面積	16,660.03 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 <input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満							
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	573	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	883 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	10 t
	総計(④=②+③)	④	893 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)		
			⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12		
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	25,171.7	45.00	1,132.7	0.014	57.3		
その他(A重油)	<input type="checkbox"/>	L	238.0	39.10	9.3	0.019	0.6		
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	2,161,235.0	9.76	21,093.7	0.382	825.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
合計					22,235.7		883.6		
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	15,719.0			0.200	3.1	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	16,224.0			0.450	7.3	
合計							10.4		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	設備保守対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
設備導入対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)	
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入	
	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人体感センサの採用	
		E112	空調用高効率冷凍機の採用		

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

運用対策追加事項(C110、C111)	
---------------------	--

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and multiple columns containing business details: 事業所等の名称 (福祉会館), 事業所番号 (A1035-0019), 所在地 (東京都三鷹市), 延床面積 (1,897.01 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 用途 (事務所), 産業分類 (8599), 前年度からの変更点.

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

Table with 5 rows and 3 columns showing energy and CO2 data: 原油換算エネルギー使用量 (64 kl), 二酸化炭素排出量 (111 t), 二酸化炭素排出原単位 (58.5 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 10 rows and 8 columns detailing CO2 emissions by fuel type: 都市ガス, 電気 (昼間/夜間), 水道, 公共下水道.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策番号, 対策名, 対策番号, 対策名. Rows include 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率. Includes fields for CO2排出量 (延床面積当たり) and CO2排出量 (総量).

6 特記事項

Large empty box for special notes.

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大沢コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	2
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地	大沢4-25-30									
事業所等の延床面積	3,680.81 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	47	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	73	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	74	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	19.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ③=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ^{※1} (t) ⑩=③×⑧×44/12	
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	2,596.4	45.00	116.8	0.014	5.9	
その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	10.0	50.80	0.5	0.016	0.0	
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/> kWh	176,134.0	9.76	1,719.1	0.382	67.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	0.0	0.382	⑫
合計					⑬	1,836.4		⑭
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	2,284.0			0.200	0.5
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	2,284.0			0.450	1.0
合計								⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑧とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C502	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検	
			D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

・冷暖房の使用時期を極力遅らせる等、極力使用しないように努めている。やむを得ない時は消費電力の少ない機器で対応。
・照明については、最低限の点灯にしている。
・夏期において、冷房を使用する場合は、設定温度を29℃に設定し、節電を心がける。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and multiple columns containing business details: 事業所等の名称 (牟礼コミュニティ・センター), 事業所番号 (A1035-0018), 所在地 (〒181-0002 東京都三鷹市), 延床面積 (2,483.66 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 用途 (事務所), 日本標準産業分類 (8211).

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

Table with 5 rows and 3 columns showing energy usage and CO2 emissions: 原油換算エネルギー使用量 (36 kl), 二酸化炭素排出量 (57 t), 二酸化炭素排出原単位 (22.9 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns and 15 rows detailing CO2 emissions by fuel type: 都市ガス, 電気 (昼間/夜間), 水道, etc. Total CO2 emissions: 57.7 t.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策番号, 対策名, 対策番号, 対策名. Categorized into 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, CO2削減率(前年度比), CO2排出量(総量).

6 特記事項

Large empty box for special notes.

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井口コミュニティ・センター										
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	1	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	1	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地	井口1-13-32										
事業所等の延床面積	2,324.07 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満						
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	45	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	71 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2 t
	総計(④=②+③)	④	73 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	30.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)		
			⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12		
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	5,496.4	45.00	247.3	0.014	12.5		
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	155,092.0	9.76	1,513.7	0.382	59.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
合計					1,761.0		71.8		
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	3,807.0			0.200	0.8	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	3,807.0			0.450	1.7	
合計							2.5		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C506	余熱利用による早めの空調停止		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
		設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102
D106	ボイラ等の定期点検の実施		D105	換気フィルターの清掃・点検	
			D108	その他設備の定期的な保守・点検	
設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)			
	E114	高効率パッケージの採用			
	E123	トップランナー機器の採用			

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

今夏の節電対策として夜間プールを中止する。プール開催期間の短縮。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and multiple columns containing facility details: 事業所等の名称 (井の頭コミュニティ・センター), 事業所番号 (A1035-0009), 所在地 (〒181-0001 東京都三鷹市), 延床面積 (1,984.27 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 用途 (事務所), 日本標準産業分類 (8211).

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

Table with 5 rows and 3 columns showing energy and CO2 data: 原油換算エネルギー使用量 (37 kl), 二酸化炭素排出量 (57 t), 二酸化炭素排出原単位 (28.7 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量 (GJ), 二酸化炭素排出量 (排出係数, 排出量). Rows include 都市ガス, 電気, 水道, etc.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策番号, 重点対策 (対策名), 対策番号, その他対策 (対策名). Rows include 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比)%, CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m², CO2排出量(総量) t.

6 特記事項

Large empty box for special notes.

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and multiple columns containing facility details: 事業所等の名称 (新川中原コミュニティセンター), 事業所番号 (A1035-0014), 所在地 (〒181-0004 東京都三鷹市), 延床面積 (2,572.74 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 用途 (事務所), 日本標準産業分類 (8211).

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

Table with 5 rows and 3 columns showing energy and CO2 data: 原油換算エネルギー使用量 (43 kl), 二酸化炭素排出量 (67 t), 二酸化炭素排出原単位 (26.0 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量 (GJ), 二酸化炭素排出係数, 二酸化炭素排出量 (t). Includes categories like 都市ガス, 電気, 水道, etc.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策番号, 対策名, 対策番号, 対策名. Categorized into 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比)%. Includes rows for CO2排出量(延床面積当たり) and CO2排出量(総量).

6 特記事項

Large empty box for special notes.

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and multiple columns containing business details: 事業所等の名称 (連雀コミュニティ・センター), 事業所番号 (A1035-0020), 所在地 (〒181-0013 東京都三鷹市), 延床面積 (2,896.07 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 用途 (事務所), 日本標準産業分類 (8211 連鎖化事業区分).

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

Table with 5 rows and 4 columns showing energy and CO2 data: 原油換算エネルギー使用量 (57 kl), 二酸化炭素排出量 (90 t), 二酸化炭素排出原単位 (31.0 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量 (GJ), 二酸化炭素排出量 (排出係数, 排出量). Rows include 都市ガス, 電気, 水道, etc.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策番号, 重点対策 (対策名), 対策番号, その他対策 (対策名). Rows include 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, バンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比)%, CO2排出量(延床面積当たり), CO2排出量(総量).

6 特記事項

Large empty box for special notes.

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹駅前コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	8
事業所等の所在地	〒181-0013		区市町村名 東京都三鷹市							
町名番地以下	下連雀3-13-10									
事業所等の延床面積	3,957.87 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 <input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満							
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	99	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	150	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	151	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	37.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ③=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ^{※1} (t) ⑩=③×⑧×44/12		
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	519.1	45.00	23.4	0.014	1.2		
その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0						
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	391,658.0	9.76	3,822.6	0.382	149.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	0.382	⑬
合計					⑭	3,845.9		⑮	150.8
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	2,149.0			0.200		0.4
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	2,149.0			0.450		1.0
合計								⑯	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑧とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C514	自動販売機の休日・夜間照明停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市芸術文化センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	上連雀6-12-14									
事業所等の延床面積	9,983.07 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	332	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	543	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	546	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	84,401.5	45.00	3,798.1	0.014	192.2	
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	kWh	796,314.0	9.97	7,939.3	0.382	304.2
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	122,795.0	9.28	1,139.5	0.382	46.9
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
合計					12,876.9		543.3	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	4,222.0			0.200	0.8
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	5,386.0			0.450	2.4
合計							3.3	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
設備導入対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	E114	高効率パッケージの採用	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	
	E123	トップランナー機器の採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御	
			E129	全熱交換器の導入	
			E130	全熱交換器の導入	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

対策メニュー追加事項:
(運用対策)C125・C115・C116・C120・C127・C121・C128・C129・C502・C507・C509・C512・C516・C517・C518・C519・C524・C510
(設備導入対策)E104・E121・E122・E133・E136・E139・E124

平成27年度の節電対策(予定)
・契約電力を一昨年引き下げたため、それに伴う、節電意識の向上。
・不要箇所の消灯。・空調温度設定の引き上げ。
・利用者への室温設定温度への協力の啓蒙。・クールビズ・ウォームビズ実施。
・例年実施している、省エネ対策の継続など。
・現状の節電状況を維持し、利用量が増加しないようにしたい。
・LEDの照明器具等も少しずつ導入していきたい。

(日本工業規格A列4番)